

平成24年1月27日
中部経済産業局

平成23年度(第3次補正予算事業)戦略的基盤技術高度化支援事業 の採択結果について

1. 戦略的基盤技術高度化支援事業は、「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」に基づく支援策の一環として、同法により「研究開発等計画」の認定^{※1}を受けた中小企業者が国からの委託を受け、ものづくり基盤技術の高度化に資する研究開発から試作までの取組を促進することを目的として行うものです。
2. 平成23年度第3次補正予算事業においては、同法の認定を受けた研究開発等計画（認定申請中を含む）を対象に、平成23年11月11日から12月12日までの期間、公募申請を受け付けたところ、全国で263件の申請があり、うち中部経済産業局へは39件の申請がありました。
3. 今回、採択審査委員会にて厳正に審査を行った結果、平成23年度第3次補正予算事業として、全国で採択が決定した51件のうち、中部経済産業局管内の7件について公表します。
(採択事業一覧については、別添資料をご参照ください^{※2})

※1 「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」に基づく「研究開発等計画」の認定制度については、下記のURLを参照ください。

(<http://www.chubu.meti.go.jp/kikai/kiban.htm>)

※2 採択案件の辞退等が発生した場合、繰り上げによる採択が行われる場合があります。

<添付資料> 資料1:採択事業一覧(中部経済産業局管内分)

資料2:平成23年度(第3次補正予算事業)戦略的基盤技術高度化支援事業の概要

(お問い合わせ先)

中部経済産業局 産業部 製造産業課長 岩田

担当：中井

電話：052-951-2724(直通)

平成23年度(第3次補正予算事業)戦略的基盤技術高度化支援事業 採択事業一覧【中部局管内】

主たる研究実施場所	主たる技術	計画名	研究開発の要約	事業管理機関	法認定事業者
愛知県	組込みソフトウェア	レアアースレスモータ制御のためのソフトウェア実装研究	現在EV/HV自動車の重要な部品であるモータにはレアアースが必要であるが、レアアースは、入手性や価格高騰が、川下製造業者の課題となっている。これらの問題を解決するため、レアアースレスモータが注目されており、モータを制御するコンピュータに実装される制御ソフトウェアの高度化が必要となる。本研究ではレアアースレスモータ制御技術を確立し、市場への導入を加速させる。	財団法人名古屋産業科学研究所	株式会社サニー技研
愛知県	プラスチック成形加工	複合材料を用いた超軽量プラスチック中空体を実現する素材研究とコンポジット成形技術の確立	環境問題、省エネ、円高等の問題を受け自動車のプラスチック部品の軽量化に対する要求は日々高まっている。本研究では自動車向けプラスチック中空体部品の超軽量化を実現させるため、複合材料を用いた薄肉高剛性を基軸とした素材研究を行うと共に、コンポジット成形技術に挑戦することで全く新しいプラスチック中空体の成形技術を確立し、次世代自動車のニーズに合った製品を川下製造業者に提供していく。	財団法人名古屋産業科学研究所	株式会社エムジーマールド
愛知県	位置決め	分割コア連続巻線方式による高性能モーター用ステーターの製造法に関する研究開発	近年、自動車産業、ロボット産業、産業機械産業等のモーター製造分野において、高性能なモーターが製造できる技術の一つとして、分割コア式があるが、その製造過程で抱えていた生産効率面での課題を、位置決め技術の高度化による巻線速度の高速化と、分割コア連続巻線方式による製造工程の改善により、高性能なモーターの短納期化、低コスト化を実現する。	株式会社ベステック	株式会社ベステック
岐阜県	組込みソフトウェア	並列画像処理技術による産業用高精細スクリーン印刷マスク検査装置の開発	太陽電池、スマートフォン等の電子・情報機器の回路パターン形成に多用される高精細スクリーン印刷では、機器の高密度化からスクリーンマスクには、10 μ mオーダーの高精細化が要求され、現状の目視検査では対応困難である。このため、複数カメラから成るカメラ配列モジュールと、個々のカメラ画像を高速処理するハードウェア画像処理基板で構成するマスク検査装置を開発し、スクリーンマスクの品質向上と生産性向上を実現する。	財団法人岐阜県産業経済振興センター	株式会社イーエスピー企画
岐阜県	電子部品・デバイスの実装	光硬化プロセスによる通電性と密着性に優れた導電ペーストの開発と高密度・高精度かつ低コストな回路パターン形成技術の開発	情報通信機器などの電極回路パターン形成では高品質で生産性の高い高密度化技術が強く求められている。このため本研究開発では、光硬化技術を用いることで導電ペーストの通電性と高密着性を同時に実現し、高密度(線間:30 μ 以下)、極精細(線幅:30 μ 以下)、高精度化(膜厚精度:±5%以下)と同時に、800シート/時の高い連続生産性を可能とする新たなパターン形成技術を開発し、日本の産業競争力向上に寄与する。	財団法人岐阜県産業経済振興センター	株式会社ミノグループ
富山県	鋳造	純度100%錫製フレキシブル手術用具の実用化に向けた錫金属の微細パイプ鋳造及び鋼材と一体化したインサート鋳造加工技術の開発	近年の高齢化進展に伴う脳血管疾患の増加傾向を受けて、脳神経外科の医療の現場からは脳ヘラや吸引器といった手術用具に、進入角度をフレキシブルに変形調節できる機能を付加する事で脳内深奥患部における手術の円滑化を求めるニーズが顕在化している。本研究開発では錫金属の柔軟性と無反発特性を活かした新しい手術用具の実用化ニーズに対応し錫金属の微細パイプ鋳造及び鋼材と一体化したインサート鋳造加工技術を確立する。	財団法人富山県新世紀産業機構	株式会社T・M・C
石川県	鋳造	耐震型水道部品及び高耐食性給水ポンプ部品の迅速製造技術の開発	水道部品供給企業は、地震による地盤変動時でも継手の外れない耐震型水道部品や、世界的な淡水化処理装置の需要拡大を受けた耐食性材料を用いた給水ポンプ用インペラの開発を行っている。開発は、部品を実機搭載し評価が行われることから、低コスト試作品の迅速提供が求められている。そのため、本提案では、環境対応型鉛フリー銅合金及び高耐食性ステンレス鋼の複雑形状鋳物を短納期に製造する技術の確立を目指す。	財団法人石川県産業創出支援機構	有限会社小松鋳型製作所 株式会社羽田合金 高級鋳鋼株式会社

平成23年度（第3次補正予算事業）戦略的基盤技術高度化支援事業 事業概要

1. 制度の目的

この事業は、鋳造、鍛造、切削加工、めっき等の[20技術分野](#)の向上につながる研究開発からその試作までの取組を支援することが目的です。

特に、複数の中小企業者、最終製品製造業者や大学、公設試験研究機関等が協力した研究開発であって、この事業の成果を利用した製品の売上見込みや事業化スケジュールが明確に示されている提案を支援いたします。

2. 応募対象事業

この事業の応募対象は、中小ものづくり高度化法（以下「法」という。）第3条に基づき経済産業大臣が定める[「特定ものづくり基盤技術高度化指針」](#)に沿って策定され、新たに[法第4条の認定（法第5条の変更認定を含む。）](#)を受けた特定研究開発等計画（以下「法認定計画」という。）を基本とした研究開発等の事業になります。

3. 応募対象者

- 法の認定を受けたものづくり中小企業者を含む、事業管理機関、研究実施機関、総括研究代表者、副総括研究代表者、アドバイザーによって構成される共同体を基本とします。
※共同体の構成員は、日本国内に本社を置いて、かつ、日本国内で研究開発を行っていることが必要です。
- 共同体の構成員には、法認定申請を行い、認定を受けた「申請者」と「共同申請者」（以下「法認定事業者」）及び協力者を全て含む必要があります。
- この事業への応募者は、事業管理機関です。事業管理機関は、研究開発計画の運用管理、共同体構成員相互の調整を行うとともに、財産管理（知的所有権を含む）等の事業管理及び研究開発成果の普及等を主体的に行う者です。

4. 研究開発期間と研究開発費の規模

- 研究開発期間：契約締結日～平成24年3月31日まで。
なお、正当な理由により期間内に本事業を終了できない場合、本予算の繰越手続きにより1年度限度として認められた範囲で事業実施期間の延長が可能。
- 研究開発規模（上限額）：
 - ①4,500万円以下：法認定計画（複数年計画（2年以上の計画））の全体のうち1年のみを実施する場合
 - ②9,000万円以下：既存の法認定計画（複数年計画）の全体又は一部（2年以上）を実施する場合

5. 公募期間

平成23年11月11日（金）～平成23年12月12日（月）

戦略的基盤技術高度化支援事業の仕組み

